

お知らせ

乳癌組織におけるヘッジホッグシグナル伝達関連因子の免疫組織化学的検討

1. 研究の対象

2009年6月から2015年12月に当院で乳癌の診断・治療を受けられた方です。

2. 研究目的・方法

乳癌の癌幹細胞 (CSC) の生存や増殖には、多くのシグナル伝達関わっているが、その中の一つヘッジホッグシグナル (Hedgehog signal, HH) 伝達は、トリプルネガティブ乳癌 (TNBC) ばかりでなくエストロゲン受容体陽性のルミナルサブタイプ乳癌においても重要な働きをしていることが最近の研究により示されてきている。そこで我々は、当科で原発乳癌の手術を受けた患者の原発乳癌組織を対象に HH 伝達関連因子や CSC マーカーの免疫組織化学的検査を行い、臨床病理学的因子や予後との相関を検討し、乳癌における HH 伝達の生物学的な意義を探索的に研究したい。実施期間は2016年3月14日～2018年3月13日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録や病理検査所見 (年齢、病期、腫瘍径など) を集めて行う観察研究です。試料は、摘出された原発乳癌組織です。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先：・・

病 院 名 : 川崎医科大学附属病院
病院所在地 : 〒701-0192 岡山県倉敷市松島 577
病院電話番号 : 086-462-1111 (内線 44373)
電子メール : kure@med.kawasaki-m.ac.jp
研究責任者 : 川崎医科大学乳腺甲状腺外科学 教授 紅林 淳一

5. 利益相反

この研究課題を実施する関係者には、アストラゼネカ(株)、中外製薬(株)、大鵬薬品工業(株)、エーザイ(株)、武田薬品工業(株)より、奨学寄付金の受け入れ、および武田薬品工業(株)より報酬・謝礼・原稿料などの受け入れがあるが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されている。なお、上記企業は、本研究課題には直接関係はない企業である。